

2019年(令和元年)9月7日(土曜日)

三島市民が告発状提出

補助金問題で市長ら

三島市のPRを行う「市地域ブランド推進協議会」に二〇一六年、市の補助金一百万円が必要な手続きなく交付された問題で、市民団体代表の渡辺豊博さん(左)が六日、豊岡武土市長

と市産業振興部(当時)の幹部職員ら計七人に虚偽有印公文書作成と同行使の疑いがある、とする告発状を三島署に提出した。

告発状では、同部職員らは一六年九月、補助金交付



報道陣に、告発状を出した意図を語る渡辺豊博さん(三島署前で)

に必要な審査会が開かれていないのに、「審査会を実施し、審査員了承済み」と書き換えた虚偽の稟議書を作成。一七年五月には、補助金の使途について市長の承認がないのに承認されたとする事業計画書を偽造した、としている。豊岡市長についても、一六年十月に補助金の使途を承認したと、うそを記した交付決定通知書を一七年五月に作った、としている。

市側は取材に「告発状を見ていないので、コメントできない」とした。

この問題を巡っては昨年十二月、別の市民三人が虚偽有印公文書作成容疑で、一六年当時の市幹部二人を三島署に告発したが、書類の不備などで受理されなかった。

市は副市長をトップとする内部調査委を組織し八月、結果を公表。稟議書の書き換えは認定したが違法性はないと結論づけた。書き換えを指示した職員についても「いろいろな証言があり、特定できなかった」とした。(杉原雄介)